

学校を再開して

臨時休業が終わり、前回の第7号で校長メッセージも終わりかな・・・と思っていたのですが、再開してみるといろいろなことが分かってきました。

なんといっても、子どもたちが元気に登校していることがうれしいです。登校指定時刻のかなり前から門で待っている子どももいて「早く学校に来たかったんだ。」と、うれしそうにしていました。あまり早く来すぎるのも心配ではありますが。

多数の保護者が付き添っていただいております。教職員で見守りができない部分をカバーしていただき、ありがとうございます。現在、学級担任は登校して子どもたちの健康観察カードの確認と体調の確認で教室にいます。級外の教員は管理職も含めて、未検温の子ども対応・新1年生の補助・道路横断の指導・駐輪場付近の安全指導・緊急受け入れの対応、などを行っています。そのような状態のため、登校の指導範囲が限られてしまっているため、校外委員の方々や付き添いの保護者の皆様にはたいへん感謝しております。

熱中症の対策も喫緊の課題となってきました。急に暑くなってきましたが、体が暑さになれていないことと、マスクによって体温が下がりにくくなっていることで、熱中症になりやすい状況といえます。学校では登校や外遊びから帰ってきたら、手洗いとともに口をゆすぐなどをして、いったんマスクを外し、口の中に水を入れることで口周りのクールダウンを図っています。また、換気しながら冷房しているので、エアコンの設定温度を少し基準より下げるようにしています。休み時間は校庭が密にならないように学年やクラスを指定して外遊びをしていますが、屋外で運動する場合、2メートル離れられるのであればマスクは外したほうが良いとの厚生労働省のガイドラインがあるため、縄跳びのように距離がとれる遊びをしている子どもにはマスクを外すよう勧めています。

今後、もっと気温が上がると思われます。ぜひ、登下校の際も帽子をかぶることをお勧めします。また、傘を活用することを提案された保護者もいらっしゃいました。子どもどうしの距離がとれることや日よけになることなど、とても良いアイデアだと思います。ただ、小学生だと晴れた日に傘を上手に扱えるか、心配です。そのため、学校としては傘の活用について協力を求めることはしませんが、ご家庭のお考えにより上手に傘を活用していただくとよいと思います。ただし、基本的に登下校は家庭の責任となりますので、傘でチャンバラごっこをしたり、本校学区の歩道が広くないので他の歩行者に接触したりしないよう指導をお願いします。

まだ、健康観察票を持ってくるのを忘れていたり、体温が記入されていなかったりと保健室に行くよう指示される子どもがかなり見られます。また、高熱にもかかわらず、無理をして登校させることのないようお願いします。ご家族で体調の悪い方がいらっしゃる場合も登校させないようお願いします。(この場合は学校にその旨、ご連絡いただければ欠席扱いにはなりません)小学生は感染しても無症状のケースが多くみられるようです。十分、ご注意ください。